



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 名

上場会社名 アルビス株式会社

コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大森 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 笹田 悦朗

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	55,998	2.4	698	5.7	893	15.3	175	△51.2
22年3月期第3四半期	54,705	1.5	660	△3.1	774	△5.8	359	20.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	5.39	—
22年3月期第3四半期	11.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
23年3月期第3四半期	33,903		13,449		39.7	413.69	
22年3月期	33,772		13,647		40.4	419.72	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 13,447百万円 22年3月期 13,644百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
23年3月期	—	4.00	—		
23年3月期 (予想)				4.00	8.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	△1.7	470	△48.4	720	△33.1	7	△98.3	0.22

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 33,779,634株 22年3月期 33,779,634株  
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,273,182株 22年3月期 1,270,969株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 32,507,989株 22年3月期3Q 32,508,865株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の回復はあるものの、雇用環境は依然として厳しく、デフレや雇用不安、急激な円高など先行き不透明な状況で推移いたしました。

当食品流通業界におきましても、所得の低迷による消費者の節約志向は根強く、同業他社との販売競争は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、外販（卸）事業の収益の減少を補うために、強い小売業への変革を目指して、昨年9月に「小売基幹システム」の運用と「物流業務の外部委託」を開始いたしました。加えて、昨年12月からは子会社(株)サンピュアーの店舗についても「小売基幹システム」への統合と、物流の一元化を実施し、営業コストを削減いたしました。

また、既存店舗の活性化については、昨年10月にEDLP（エブリデイロープライス）型への業態転換第1号店を『フードバリュ野々市店』（石川県野々市町）として新装オープンするとともに、同年11月には近隣型ショッピングセンターに入居するアピア店（富山市）を改装・増床し、品揃えの強化を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、平成21年10月に連結子会社となった(株)サンピュアーの売上高が寄与したこと等により営業収益55,998百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益698百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益893百万円（前年同期比15.3%増）となりました。また、四半期純利益は、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額232百万円を特別損失として計上したこと等により175百万円（前年同期比51.2%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計は33,903百万円となり、前連結会計年度末と比べて131百万円の増加となりました。これは主に、売掛金が811百万円減少しましたが、現金及び預金が630百万円、有形固定資産のその他が460百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

また、当第3四半期末の負債合計は20,453百万円となり、前連結会計年度末と比べて328百万円の増加となりました。これは主に買掛金が433百万円増加したこと等によるものです。

当第3四半期末の純資産は13,449百万円となり、前連結会計年度末と比べて197百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金111百万円及び利益剰余金84百万円がそれぞれ減少したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

営業利益および経常利益ならびに四半期純利益につきましては、平成22年10月8日に発表した平成23年3月期の連結業績予想を上回っております。しかしながら、現下の経済状況等を考慮した場合、依然消費の下振れ懸念が払拭されないため通期の業績予想は変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一部の経過勘定項目については合理的な算定方法による概算額で計上しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより営業利益、経常利益がそれぞれ19百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が251百万円減少しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,913,639	3,282,801
売掛金	433,951	1,245,701
商品	1,604,470	1,536,306
仕掛品	277	542
原材料及び貯蔵品	68,293	60,773
その他	929,807	1,242,194
貸倒引当金	△138,622	△153,452
流動資産合計	6,811,816	7,214,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,993,356	7,176,349
土地	10,205,400	9,946,592
その他（純額）	2,347,725	1,887,014
有形固定資産合計	19,546,481	19,009,957
無形固定資産		
のれん	906,421	1,256,661
その他	756,739	405,200
無形固定資産合計	1,663,160	1,661,861
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,090,374	4,093,476
その他	2,011,536	2,038,659
貸倒引当金	△219,431	△246,657
投資その他の資産合計	5,882,479	5,885,478
固定資産合計	27,092,121	26,557,297
資産合計	33,903,938	33,772,165
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,890,650	4,456,905
短期借入金	1,313,000	2,684,000
1年内返済予定の長期借入金	2,759,030	2,740,662
未払法人税等	76,103	320,057
賞与引当金	176,051	392,562
その他	2,172,768	1,823,261
流動負債合計	11,387,603	12,417,447
固定負債		
社債	294,000	338,000
長期借入金	6,897,778	5,886,577
受入敷金保証金	842,599	880,335
資産除去債務	426,576	—
その他	605,395	602,661
固定負債合計	9,066,349	7,707,574
負債合計	20,453,952	20,125,022

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829,322	1,829,322
資本剰余金	2,545,005	2,545,005
利益剰余金	9,576,340	9,661,037
自己株式	△305,248	△304,847
株主資本合計	13,645,421	13,730,517
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△197,705	△85,955
評価・換算差額等合計	△197,705	△85,955
新株予約権	2,270	2,580
純資産合計	13,449,985	13,647,142
負債純資産合計	33,903,938	33,772,165

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	53,974,774	55,164,687
売上原価	40,866,053	40,933,367
売上総利益	13,108,721	14,231,319
不動産賃貸収入	730,443	833,647
営業総利益	13,839,164	15,064,966
販売費及び一般管理費	13,178,724	14,366,824
営業利益	660,440	698,141
営業外収益		
受取利息	23,067	25,115
受取配当金	12,203	13,003
受取手数料	42,643	43,792
持分法による投資利益	11,427	8,971
受取販売奨励金	—	107,570
その他	160,840	158,974
営業外収益合計	250,182	357,426
営業外費用		
支払利息	112,588	147,601
その他	23,240	14,361
営業外費用合計	135,829	161,962
経常利益	774,793	893,605
特別利益		
固定資産売却益	0	31,020
貸倒引当金戻入額	591	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	643
保険解約返戻金	26,321	—
特別利益合計	26,913	31,663
特別損失		
固定資産除却損	3,680	79,808
投資有価証券売却損	—	27,109
減損損失	—	66,004
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	5,200
預託金貸倒引当金繰入額	1,760	475
貸借契約解約損	26,119	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	232,325
特別損失合計	31,560	410,923
税金等調整前四半期純利益	770,146	514,346
法人税、住民税及び事業税	300,167	328,542
法人税等調整額	110,382	10,433
法人税等合計	410,550	338,975
少数株主損益調整前四半期純利益	—	175,370
四半期純利益	359,596	175,370

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	770,146	514,346
減価償却費	941,371	1,020,384
減損損失	—	66,004
のれん償却額	248,796	350,239
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	53,020	△42,055
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△200,550	△216,511
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,000	△17,800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,310	555
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△41,097	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,848	3,254
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△4,228
受取利息及び受取配当金	△35,270	△38,118
支払利息	112,588	147,601
固定資産除売却損益 (△は益)	3,680	48,788
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	27,109
売上債権の増減額 (△は増加)	△186,605	811,749
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△409,814	△75,418
支払債務の増減額 (△は減少)	1,453,769	346,524
未収入金の増減額 (△は増加)	—	355,989
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	232,325
その他	△24,197	△114,610
小計	2,669,376	3,416,131
利息及び配当金の受取額	20,917	39,361
利息の支払額	△108,317	△141,227
法人税等の支払額	△637,285	△563,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,944,690	2,750,763
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,286,805	△1,280,467
有形固定資産の売却による収入	63	56,712
無形固定資産の取得による支出	△31,545	△123,812
投資有価証券の売却による収入	10,004	160,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△994,513	—
敷金及び保証金の差入による支出	△188,818	△221,892
貸付金の回収による収入	422,919	563
定期預金の払戻による収入	300,000	—
その他	△75,599	△27,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,844,294	△1,436,544



(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△732,501	△1,371,000
長期借入れによる収入	4,200,000	3,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,808,922	△2,270,431
社債の償還による支出	—	△44,000
自己株式の取得による支出	△74	△400
配当金の支払額	△258,193	△258,098
リース債務の返済による支出	△13,422	△39,452
その他	1,573	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,388,460	△683,381
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,488,856	630,837
現金及び現金同等物の期首残高	2,914,758	3,282,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,403,615	3,913,639

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、複数の事業を展開しており「スーパーマーケット事業」「外販事業」「その他の事業」を報告セグメントとしております。

「スーパーマーケット事業」は直営での食品スーパーマーケットの展開を行っております。「外販事業」は得意先企業が経営する食品スーパーマーケットへ商品供給等を行っております。「その他の事業」は主に商業施設用地の開発及び不動産賃貸等を行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパー マーケット 事業	外販事業	その他の事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	48,303,457	7,286,038	408,837	55,998,334	—	55,998,334
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	5,277	103,889	253,035	362,201	△362,201	—
計	48,308,734	7,389,928	661,873	56,360,536	△362,201	55,998,334
セグメント利益	996,321	347,055	79,227	1,422,603	△724,462	698,141

(注) 1. 「調整額」には、セグメント間取引消去13,919千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△738,382千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。